

点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

■112■

今年桜の開花が例年よりも早かった。前橋市の中心部では3月下旬に満開となり、仕事帰りに前橋公園の夜桜を楽しんだが4月上旬には散ってしまった。今年はまだ桜を見ることはできないかなと思っていたら、支店職員から「赤城南面千本桜はまだ満開ですよ」との情報。さっそく車を借りて行ってみると、満開の夜桜が見事だった。

お花見ドライブ

私は平たんな田畑が広がる茨城県南部で育ったので、標高の違いと季節に2〜3日遅くなるそう

標高差で長く楽しむ

ながらほぼ散っていた。行事が終わってから隣の吉岡町へ行くと、滝沢川沿いの桜が満開。ちょっとした場所の違いが日当たりなどに影響するの

の良い南斜面の桜は散っているが、北斜面を探せばきれいな桜が残っている。次は神流川公園で川と桜の眺めを楽しんだ。国道462号を走りながら見上げる山腹には、宝石をちりばめたように白いヤマザクラが輝いている。上野村に入る

ツジの桜はちょうど満開。南牧村に入り、星尾川沿いの線ヶ滝の近くで桜のトンネルをくぐる。夕刻に下仁田町のさくら里を見て、最後は安中市の後閑城址公園。浅間山に沈む夕日に照らされたオレンジ色に染まった桜を眺めてお花見ドライブは終了した。

の進みの関係は、頭では理解していたつもりだが身近に感じたのは初めてだった。そうか、もっと高いところに行けばまだ桜を楽しめるのかと、その週末はお花見ドライブをすることに決めた。

しんで帰宅した。すっかり味をしめてしま、翌日の日曜日は早起きして藤岡市の桜山公園からスタート。日当た

のしだれ桜、黄色いレンギョウ、白いユキヤナギが風に吹かれて見事な三重奏。

方ができるのは標高差の大きい群馬県ならでは。前橋に赴任して良かった、しみじみ感じた一日だった。

土曜日の朝、記念行事のために訪れた榛東村の相馬原駐屯地の桜は残念

肥後秀明 (ひご・ひであき)

1969年生まれ

茨城県出身。東京大経済学部卒。92年に日本銀行入行後、金融機構局考査企画課長兼上席考査役、金融機構局考査運営課長兼上席考査役などを経て2022年4月から現職。

